

出張報告書

令和 1 年 9 月 6 日

会派名 志誠会
会長 立崎 聡一 様

出張者氏名 近藤 憲治

下記のとおり出張したので報告します。

記

出張期間	令和1年9月2日(月) ~ 令和1年9月4日(水) [3日間]						
出張概要	①	月日	9月3日	市町村名	足利市	会場	足利市一帯
		目的	高齢者福祉施策関連調査				
		テーマ	・お年寄りの「終活」を支援する行政、民間それぞれのサービスを視察				
	②	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
	③	月日		市町村名		会場	
		目的	移動日				
		テーマ					
	④	月日		市町村名		会場	
		目的					
		テーマ					
所見	別紙のとおり						
備考							

※所見については、別紙(任意様式)で作成して下さい。

高齢者福祉施策関連調査（栃木・足利）

高齢化の進展に伴い、独居高齢者の生活サポート、さらには、お亡くなりになった場合の様々な取扱い(業界では「終活」と呼ぶようだ)については、行政と民間の狭間となる分野もあり、制度的に明確になっていない部分もある。そこで、足利市で高齢者の生活サポートと終活を一手に引き受け、公共性を帯びた困りごとの解決と民間によるきめ細やかでハイレベルなサービスの提供を先駆けて行っている事業者を訪問した。事業としては、地域の高齢者からの困りごとをいったん何でも伺う窓口を一般社団法人として設立し、行政サービスにつなぐ部分は行政に、一方、民間事業者で無いと出来ない場合は、地域内の事業者に確実につなぎ、サービス提供やキャッシュが域外に漏れないように工夫しているのがユニークで会った。例えば、導入部は独居高齢者の生活サポートを行い、困りごとの中身によっては「ハウスクリーニング」「住まいのお片付け」などの代行業者へと依頼。その後、お年寄りが天寿を全うされた後も、「遺品整理」「遺品供養」「永代墓への埋葬」等まで対応できるようにすべてが仕組み化されている。行政だけでもできない、民間だけでも出来ない、その間を取り持つ一般社団法人をも立ち上げ、地域のお年寄りの安心安全を守ろうという事業者の心意気に胸を打たれる訪問であった。網走においても、独居高齢者の生活サポートや、いわゆる「終活」の充実は待ったなしである。行政、民間、それぞれの得意分野や個性をわきまえた仕組み化を進めていきたい。